社会福祉 社会保障 は、いま ⑰

時代の転換期

歴史的な時代の転換期に立っているのではないか。グローバル化の中で大国のパワーとパワーがぶつかり合いそうな危うい時代に入っている。民主主義国家の代名詞のように言われたイギリスのEC離脱の動き。あるいはアメリカのメキシコ国境の壁建設、自らの国名にファーストを付け、ナショナリズムを煽っている。ファーストの背景、目的に自国の財政と経済をおき、途上国の人々の生命や尊厳は軽んじられ、「犯罪者」扱いされ、押しつぶされそうな予感がする。

ナショナリズムが煽られると何が起きるか。フランクルの『夜と霧』に描かれた強制収容所の鉄条網の柵の内部で何が行われていたか。大多数の人々は何も知らなかった。日本軍がノモンハン戦争（1939年5月、中国東北部、モンゴル国境に近いハルハ河畔）において、僅か4ヶ月の戦闘で戦死傷者2万数千人を出した。それが、誰も責任を問われず、中国・アジア侵略の引き金になったことも知られていない。松本草平（『茫漠の曠野ノモンハン』東方通信社）が軍医として従軍した記録を書いており、「20人に1人しか残らなかった戦争」の実態を報告している。この戦争が、後の第2次大戦の引き金になったこと。それが大多数の人々が殆ど知ることもなくナショナリズムは拡大する。

経済成長が長く持続していると言う。非正規雇用が増え、格差拡大も進み、年金が抑えられ、介護保険サービスも引き締められている。生活実感は厳しいのに、軍事費を増額し、社会保障費を抑えている。財政の論理からいえば中山間地域をコンパクトシティ（人口のダム）に合併させ、中核拠点に住民を移住させる方向が、さらに人口減少に拍車をかけることになるであろう。

この転換期に、社会福祉法人は何をやるのか。サンシャイン福祉振興会はピープルファーストが基本理念である。1人を大事にし、生命と尊厳に最大の価値を置き、住み慣れたところでその人らしく暮らし続けることができるまちづくりを実践する。

地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川に研修室・リハビリ室を増築。学習・研修、アートセラピーを進めるとともに、地域にも開放し、認知症カフェやミニ美術館としても親しめるコーナーとして近くオープンする予定である。皆様と共に、中山間地域の新たな文化をここに創り夢と希望を育てたい。

大友信勝
（社会福祉法人
サンシャイン福祉振興会理事長・
聖隷クリストファー大学
大学院教授）

文芸コーナー

・渓谷の水音静かな両岸に
　柳綿毛でくる春せかす
・日を追って枯葉ぬぎすてふきのとう
　宮豆

・其の歳でと笑う人あり褒める人
　それでいいのよ人生だもの
・不可能を可能となして今を生く
　自己満足な日々の明け暮
　秀子

・手鏡や花のかんばせ山笑ふ
・トンネルを抜けて香し梅の花
　千枝

・一〇〇才と呼び名をうけてつくづくと
　長き道のり静かにおもう
・深む老長き廊下をよちよちと
　歩けば聞こゆやさしき声が
　とくよ

・蝋梅や猫だいている男の子
・仏壇を開けて如月の風入れる
　やす子

短歌 俳句 漫画 川柳